

基本課題Ⅱ 教育・学習（男女平等意識をつくる）

目標3 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し

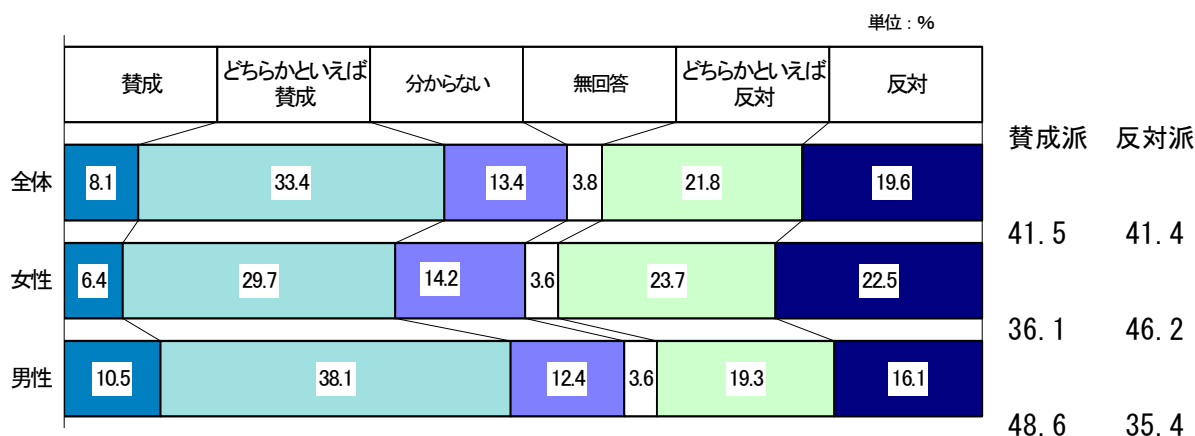
- (1) 男女平等意識をつくるための啓発活動の充実
- (2) 男女平等の視点に立つ行政職員の育成
- (3) 社会制度・慣行の見直し

状況

平成21年度と平成26年度の意識調査結果を比較すると、「男は仕事，女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識について、「賛成」・「どちらかといえば賛成」をあわせた「賛成派」が男女とも約6ポイントほど増加しています。また，平成26年度の調査をみると，女性の「賛成派」と「反対派」の差に対して，男性の「賛成派」と「反対派」の差が大きくなっています。

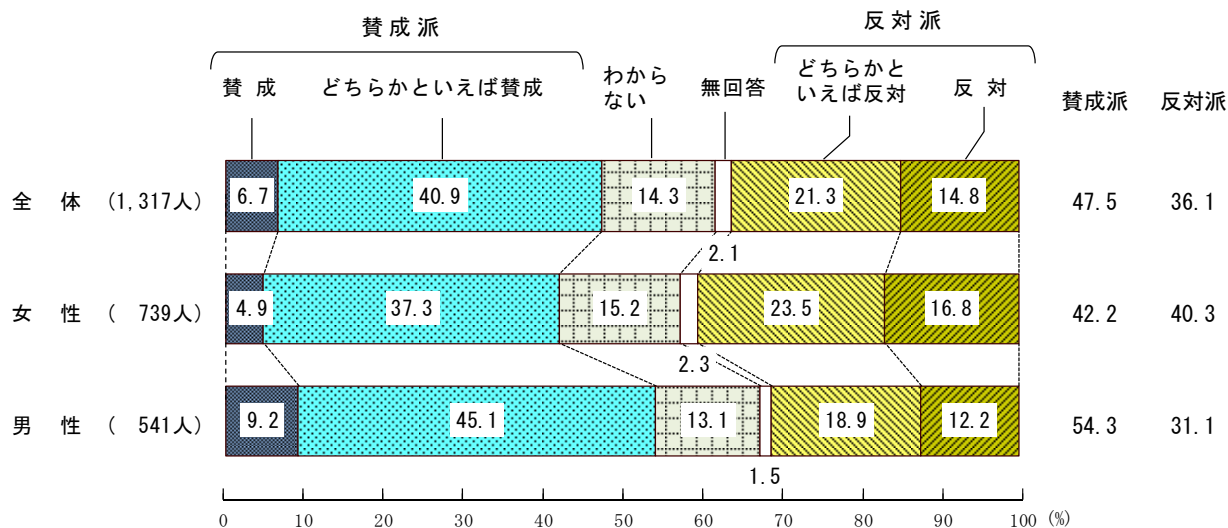
「男は仕事，女は家庭」という考え方について（平成21年度市民意識調査）

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
標本数：4,000人 調査方法：郵送による調査



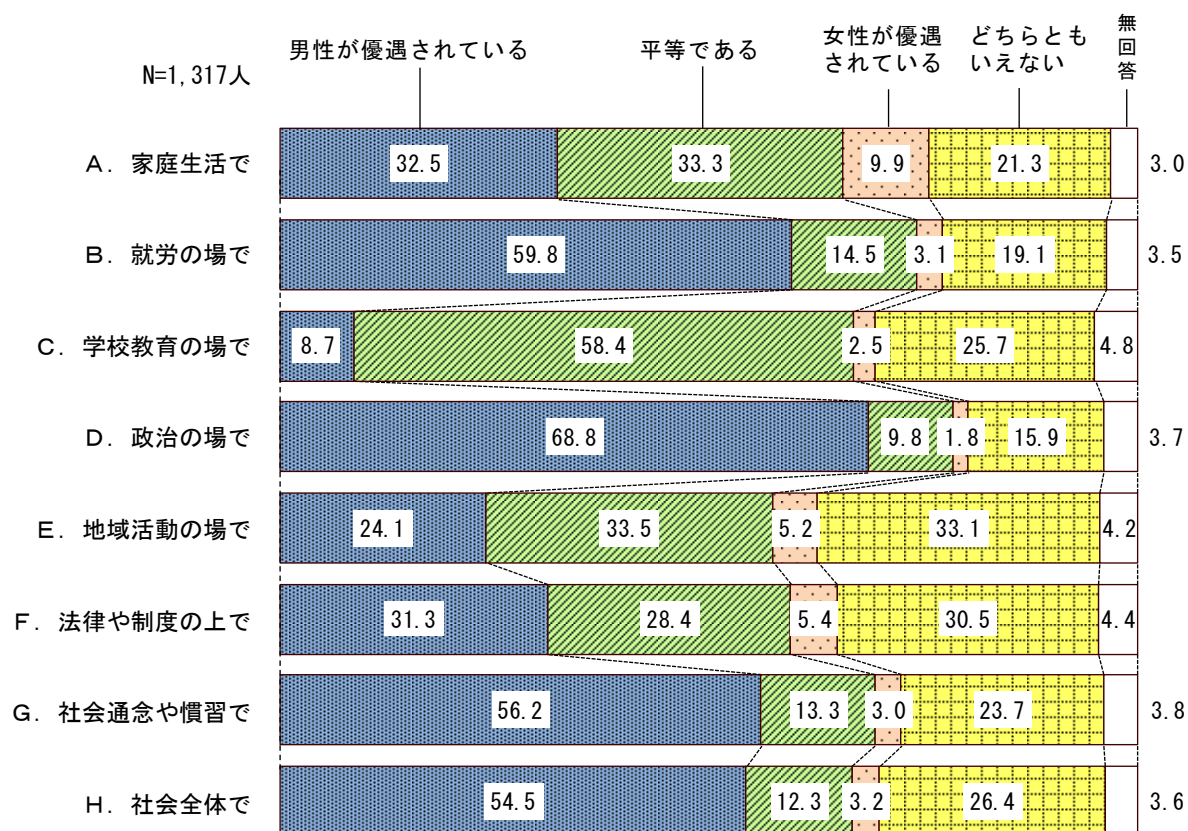
「男は仕事，女は家庭」という考え方について（平成26年度市民意識調査）

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
標本数：4,000人 調査方法：郵送による調査



男女の平等感について（平成26年度市民意識調査）

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
 標本数：4,000人
 調査方法：郵送による調査



もっとも平等であるとの回答が多かったのは「学校教育の場」でした。逆に「就労の場」「政治の場」「社会通念や慣習」「社会全体」で「男性が優遇されている」との回答が半数を超えました。まだまだ多くの分野で男性が優遇されていると感じられているようです。

特に取り組んだこと

1 柏市男女共同参画シンポジウムを開催しました

◇柏市男女共同参画シンポジウム（平成27年1月24日）

固定的な意識にとらわれず，多様な生き方を認め合い，多様な選択ができるように，男女共同参画について理解を深めるためのシンポジウムを開催しました。

公募の市民・市民団体による柏市男女共同参画シンポジウム実行委員会が企画・運営を行いました。

男女共同参画室

《内容》

第1部（参加者191人）

- ・講演「仕事も家庭も一生懸命～菊地流ワークライフバランス～」
- ・講師 弁護士 菊地幸夫氏



基調講演

講師 菊地幸夫さん

第2部 分科会 5分科会（参加者140人）

- ・第1分科会 父親も地域を楽しもう！
～PTA活動をラクに楽しくするヒントを伝授～（30人）
- ・第2分科会 デートDV防止の恋愛基礎レッスン（30人）
- ・第3分科会 女性にとっての生きがい・男性にとっての生きがいとは？（30人）
- ・第4分科会 親力UP講座 こどもを伸ばす前向き子育てパート2（20人）
- ・第5分科会 働き続けるために
～仕事，結婚，育児，迷っているあなたへ～（30人）

2 柏市インターネット男女共同参画センターからの情報発信・啓発を行いました

◇柏市インターネット男女共同参画推進センター

インターネット上の男女共同参画推進センターとして，情報・学習・相談・交流等による男女平等意識の啓発に継続的に努めました。

男女共同参画室

柏市インターネット男女共同参画推進センター「参画eye」

<http://danjo.city.kashiwa.lg.jp>

3 男女共同参画の視点に立った人材管理を行いました

◇男女共同参画の視点に立った職員の採用，登用，育成

職員の新規採用については，性別に一切とらわれない内容で実施しました。

職務配置については，女性管理職の，より重責な職務への配置を積極的に行いました。

また，職員を対象とした男女共同参画研修や，男女共同参画推進審議会，市の幹部職員からなる男女共同参画推進庁内連絡会議・幹事会を対象に男女共同参画についての研修会を実施しました。

人事課・男女共同参画室

推進状況

「男は仕事，女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識を持たない人の割合

平成 21 年度意識調査 平成 26 年度意識調査 平成 27 年度目標
41.4% ⇒ 36.1% ⇒ 50%

「社会全体において，男女が平等になっている」と感じる人の割合

平成 21 年度意識調査 平成 26 年度意識調査 平成 27 年度目標
11.8% ⇒ 12.3% ⇒ 20%

啓発事業への若い世代（20～40 歳代）の参加割合（シンポジウム）

平成 23 年度 平成 26 年度 平成 27 年度目標
23% ⇒ 28% ⇒ 50%

主な取り組み

- ・インターネット男女共同参画センターによる情報発信・学習情報の提供（男女共同参画室）
- ・情報紙の作成（男女共同参画室）
- ・講座の実施（男女共同参画室）

今後の取り組み

- ・インターネット男女共同参画センターを活用した若い人向けの啓発コンテンツ等の検討・作成（男女共同参画室）

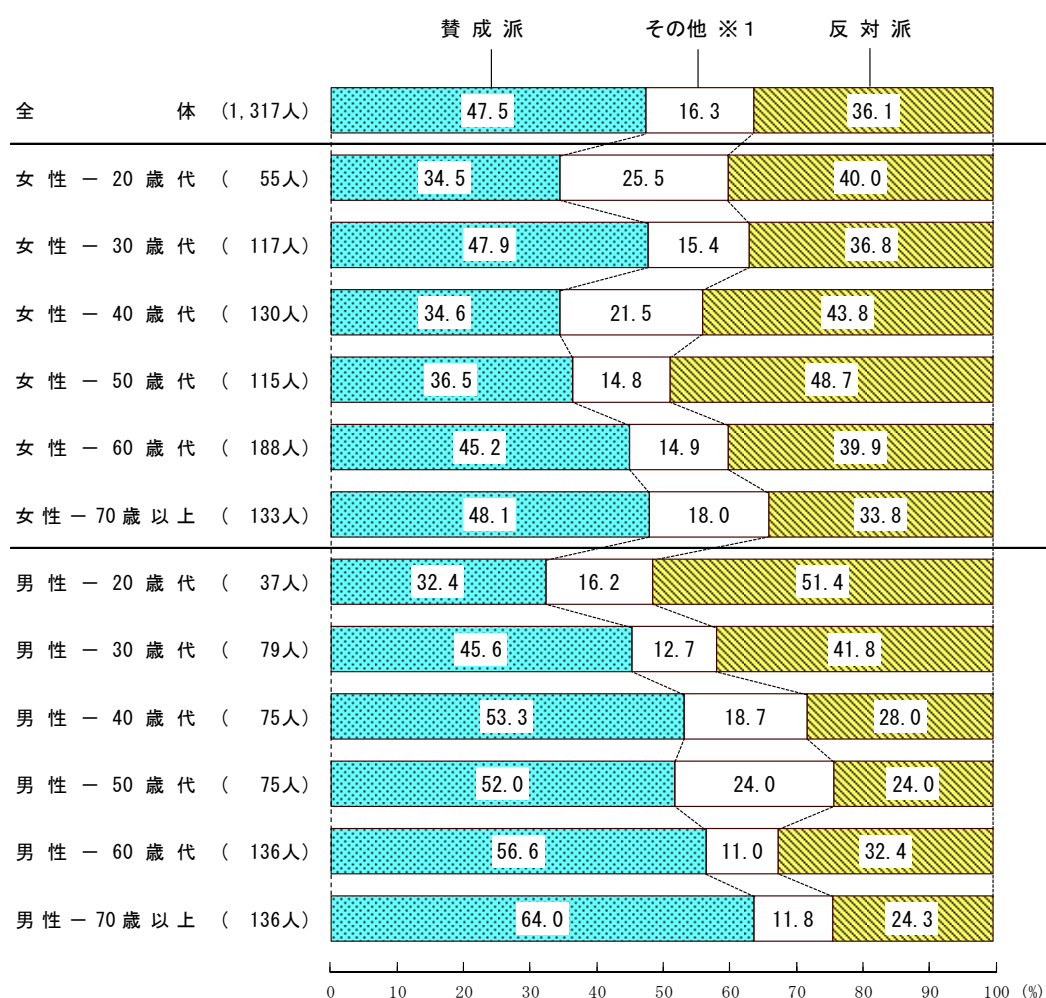
目標4 あらゆる場での男女平等教育・生涯学習の推進

- (1) 家庭教育における男女平等意識の啓発
- (2) 保育園・市立幼稚園における男女平等教育の推進
- (3) 学校における男女平等教育の推進
- (4) 社会における男女平等に関する生涯学習の推進

状況

職場や家庭、地域社会においては、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識、制度・慣行の中に存在する女性への差別や偏見などが依然として残っていることがうかがえ、平等意識は十分に浸透しているとはいえない状況です。

年齢ごとの性別にみる性別で役割を分担する考え方（「男は仕事、女は家庭」という考え方について）



「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」平成26年度

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女

標本数：4,000人

調査方法：郵送による調査

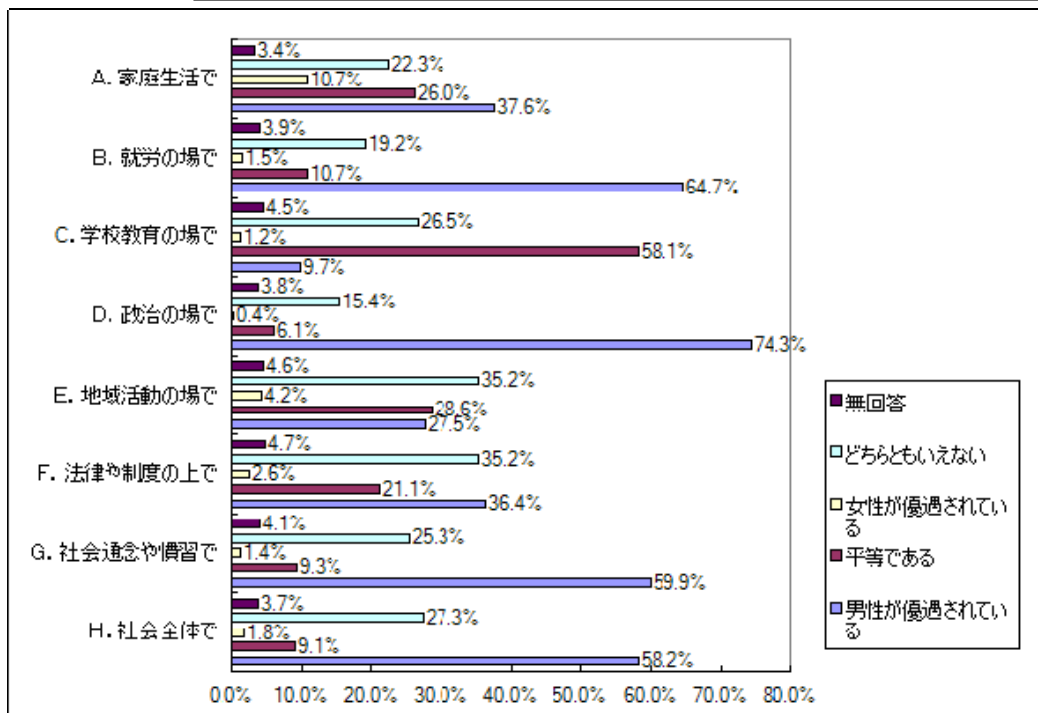
※「その他」については「わからない」と「無回答」を指します。

性別にみる「男女が平等になっていると感じる分野」について

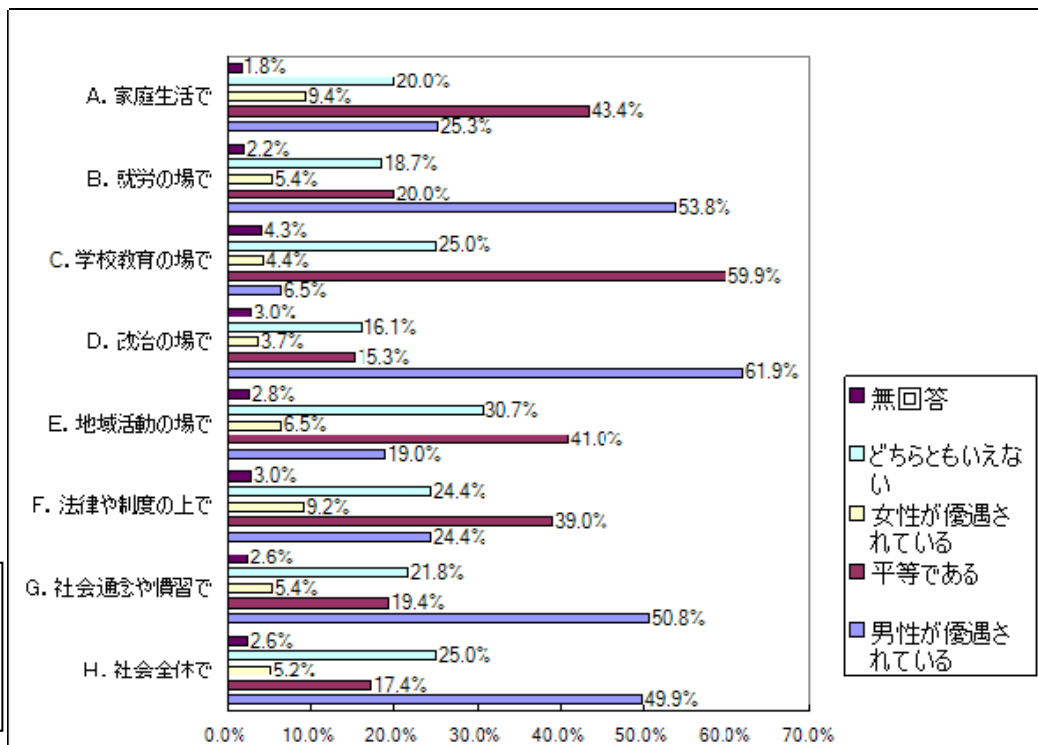
(平成26年度市民意識調査)

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
 標本数：4,000人
 調査方法：郵送による調査

◎女性



◎男性



全体 (N1,317人)
 女性 (N739人)
 男性 (N541人)

性別に見ると、全ての分野で「男性が優遇されている」との回答が「女性が優遇されている」との回答を上回っています。また、男女ともに「男性が優遇されている」との回答が5割を超えたのは[B. 就労の場で], [D. 政治の場で], [G. 社会通念や慣習で]の3分野となっています。

特に取り組んだこと

1 教職員への啓発資料を配布しました

◇啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」を配付

「柏市『男女共同参画をめざす教育』」を全市立各小中学校に配付し、男女平等教育の啓発を図りました。

指導課

2 男女平等教育に関する学習資料の提供を行いました

◇図書館で関係資料を収集、貸出・情報提供を実施

女性に対する暴力をなくす運動期間、男女共同参画シンポジウムの際に図書館ロビーで企画展示を行いました。関連資料の収集や展示、企画展示に合わせたブックリストを作成し、啓発に努めました。

庁内連携

[平成26年度図書企画展示]

- ・11月 DV防止
- ・12月 男女共同参画

3 生涯学習情報の提供を行いました

◇生涯学習システム「らんらんかしわ」から学習情報を発信

生涯学習システム「らんらんかしわ」で生涯学習の情報を集約、出前講座や生活に密着した講座など、民官学の幅広い情報を提供しました。出前講座については、273件（参加者16,410人）実施しました。

生涯学習ボランティアシステム（学んだ知識や技術を活かしてボランティア活動をする人材バンクシステム）をとおして情報を提供し、90件の活動実績がありました。

生涯学習課

生涯学習システム「らんらんかしわ」
<http://ranran.city.kashiwa.lg.jp/>

推進状況

「学校教育の場において男女が平等になっている」と感じる人の割合

平成21年度意識調査	平成26年度意識調査	平成27年度目標
<u>53.9%</u>	⇒ <u>58.4%</u>	⇒ <u>75%</u>

主な取り組み

- ・生涯学習の場の提供。男女共に参加しやすいよう、日曜日にも講座を開催（公民館）
- ・啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」で、隠れたカリキュラムの点検と見直しについて例を挙げて示すとともに、「柏市男女平等教育実践事例集」の活用を呼びかけました。（指導課）

今後の取り組み

- ・男女共同参画の課題を取り上げた講座の実施（男女共同参画室）
- ・研修会などにおける教職員への男女平等教育の啓発（指導課）
- ・啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」の内容の見直し・配付
(指導課)